

事業団の仲間の決意をわがものに 貨物支部は先頭で闘うぞ
国鉄「分割・民営化」反対！三里塚二期工事阻止！

第十四回新小岩支部定期大会大成功

来賓あいさつにつづき、支部執行部より経過報告、運動方針の提起をうけ、質疑応答に入りました。「貨物も東日本の次に攻撃を受ける、團結力で頑張ってたたかいぬこう」「沖縄のたたかいに学び二四名の青年部員が先頭でたたかおう」「清算事業団に送られた支部組合員の磯辺さんを取り戻し、原職奪還をかちとろう」「機関区にいる鉄産労を獲得しよう」という決意を込めた発言が続出し、青年部からも年配者からもたたかう決意、「六三・三ダイ改」の問題点など発言があいつぎました。

活発な討論によつて
方針を確認

議長選出、スローガン提起の後、あいさつにたつた関支部長は「二十八名の解雇者、十二名の清算事業団の仲間の奪還のたたかいと、物資販売運動などのたたかう財政基盤の確立、上映会運動を中心とした新小岩支部の力で成功させよう」、「反合・運転保安確立のたたかいで起ちあがろう」、「裏切り集団鉄道労連を解体しよう」と提起しました。

つづいて、来賓あいさつに移り、鈴木区労協事務局長、清田社会党葛飾区議、中江顧問、中野委員長の順で、支部への激励の言葉が述べられました。中江顧問は船橋市議選での当選御礼と船橋市議会でのたたかう決意を明らかにしました。

また、中野委員長は「われわれの主張してきたことがようやく明らかになつてきた。分割・民営化は大破産をとげ、問題は何ひとつ解決してない。いすみ鉄道を含めた出向攻撃と対決し、会社の言うことを率先してやつてある鉄道労連を解体しよう」と述べられました。

原職奪還の闘い、物販・上映運動
に総決起しよう
— 関支部長が提起 —

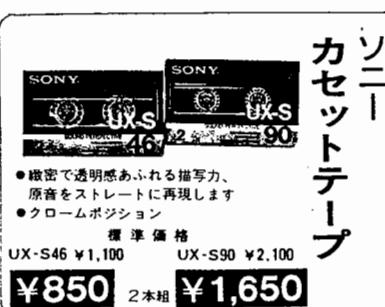
新小岩支部第十四回定期大会は十二月十二日十二時すぎより始まり、四十八名の支部組合員の参加、来賓に清田社会党葛飾区議、鈴木葛飾区労協事務局長、動労千葉から顧問の中江昌夫船橋市議と中野委員長が出席されました。

日刊
動労千葉

87.12.17
No.2723

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
(鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二(22)七一〇七



冬、季販売、目標達成まで

ガンバ口ウ

▲新役員▼

支 部 長	関 豊 豊
副 支 部 長	的 場 正 宽
書 記 長	君 林 寛
書記次長	塚 正 治

支部組合員の活発な発言のなか、不當にも清算事業団に送られ、十一名の仲間と共に厳しい攻撃のなかで頑張っている磯辺さんより、この間の支部組合員の激励に対するお礼とたたかう決意が述べられました。

この提起を受けて会場内は、磯辺さんの決意をわがものとしようという雰囲気につつまれました。組合員の一人ひとりがあくまでも「分割・民営化」に反対しつづけ、「四・一体制」を粉碎して解雇者・清算事業団の仲間を奪還する闘いの先頭に新小岩支部は立とう、という決意のもとに、闘う方針を満場一致で決定し、支部執行部の新体制を確立し、第十四回支部大会はかつてない大成功を勝ちとり終了しました。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を